

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP1-21	研究期間	2021/3/23 から 2029/3/31
研究課題名	原爆被爆者における放射線被曝と脳卒中発生率の関係についての検討		
研究責任者（所属）	中溝知樹（放射線影響研究所）		
試料・情報の利用目的及び 利用方法	利用目的：放影研では、原爆被爆者の皆様にご協力いただき、脳卒中の発生に対する放射線被ばくの影響を調査してきました。これまでの結果から、脳卒中の種類によって異なる放射線影響がある可能性が示唆されていますが、はっきりとしたことはわかっていません。この研究の目的は、脳卒中およびその種類(脳梗塞, 脳出血, くも膜下出血)が放射線被ばくと関連するのかを可能な限り正確な診断に基づいて明らかにすることです。 利用方法：放影研での健診（成人健康調査）に参加されているかたの健診記録と死因情報から脳卒中の診断を調べて、被ばく放射線との関係を解析します。研究に使用する情報はすべて匿名化されます		
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 提供先機関名：地域がん登録実施機関(広島県市、長崎県) <input type="checkbox"/> 無		
利用し、又は提供する 試料・情報の項目 (提供する試料・情報の取得の方法)	放影研に記録されている以下の情報：性別、都市、生年月日、被ばく放射線量、爆心地からの距離、脳卒中に関連する情報（診断名、発症日、症状、画像情報、高血圧の診断治療歴など）、死因情報および死亡日、生活習慣に関する情報（喫煙歴など）。 広島と長崎の地域がん登録（広島県市・長崎県）から取得するデータ：がんの診断、放射線治療歴。（取得にあたり、照合のために、氏名、生年月日、性別、住所の情報をがん登録事業者に提供しますが、これらの情報は照合のためだけに使用され、照合後は破棄されます。） *情報の利用の開始日は2021年3月23日です。		
利用する者の範囲	放射線影響研究所 中溝知樹 石原佳代子 山田美智子 スポスト・リチャード		

	杉山裕美 立川佳美 今泉美彩 飛田あゆみ 大石和佳
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	中溝知樹 (放射線影響研究所)
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：中溝知樹 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 住所：長崎市中川一丁目 8 番 6 号 TEL：095-823-1121